

施工 Q-05

打設前開口 デッキ補強

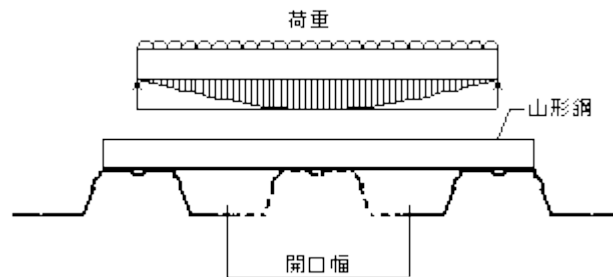
コンクリートを打込む前にデッキプレートを切断し、孔あけする場合の補強にフラットバーは使用できますか。

施工 A-05

特別に検討した場合以外は、フラットバーの使用は避けて下さい。

開口部で、デッキプレートを補強する場合、一般に山形鋼を使用しています。

施工時（コンクリート打設時）及び完成時（デッキ合成スラブ）に、開口部幅に作用する荷重を両側のデッキプレート又はデッキ合成スラブに分散伝達するため、山形鋼の曲げ耐力に期待しています。

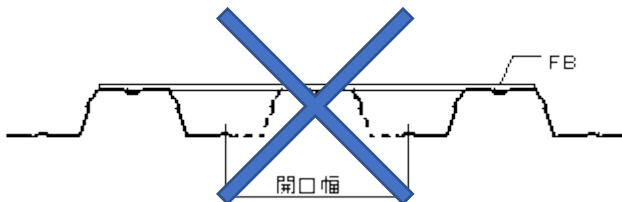


《参考》

フラットバーを使用する場合、平づかいと縦づかいが考えられます。

1. 平づかい

平づかいの場合は曲げ耐力が期待出来ないので、使用出来ません。



2. 縦づかい

縦づかいの場合はある程度曲げ耐力が期待出来ますが、横座屈を起こしやすいので、サイズの選定には充分留意してください

